

## 第836回:とてつもなく長い肩書

夏目漱石の「吾輩は猫である」で、なぜか記憶に残るおしゃべりとして、珍野苦沙彌先生が細君と交わす会話を覚えている。晩酌の場面である。

「酒をもう一杯飲もう」と杯をだす。「今夜はなかなかあがるのね。もう大分赤くなっていらっしやいますよ」、「飲むとも。お前世界で一番長い字を知っているか」、「ええ、前の関白太政大臣でしょう」……

そこから話がこじれ、「それは名前だ。長い字を知っているか」ときて、「Archaioemelesidonophruncherata」が登場するが、それはさておき「前の関白太政大臣」とは百人一首に登場する“わたの原漕ぎ出でて見れば久かたの雲みにまがふ沖つ白波”を詠んだ藤原忠通のことだ。彼の名前を正しく名乗れば、「法性寺入道前関白太政大臣藤原忠通」、金之助先生によると日本一長い名前。フリガナをふるまでもないが、“ほっしょうじ、にゆうどう、さきの、かんぱくだいじょうだいじん、ふじわらのただみち”。

だが、世界にはもっと長い名前もある。白髪三千丈の漢土には、格調高い文体で書かれた資治通鑑なる通志がある。中国北宋の司馬光が英宗の詔(1065年)で編纂にとりかかり、1084年に完成させた編年体の歴史書で、全294巻の巻毎に著者名が頭銜(とうかん＝肩書)を付けて、こう記されている。

「端明殿学士兼翰林侍讀学士太中大夫提挙西京嵩山崇福宮上柱国河内郡開国公食邑二千二百戸食実封九百戸賜紫金魚袋臣司馬光」、これに比べれば、本朝の「前の関白」なんてちよろいものだ。

いまの中原は、王朝から共産党の時代に移っているけど、党指導者の肩書もけっこう長い。中国の国営メディアは習近平主席を簡略化した名称を用い、「中共中央総書記、国家主席、中央軍委主席習近平」などと報道することが多いが、正式肩書は、中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国主席、中国共産党中央軍事委員会主席、中華人民共和国中央軍事委員会主席だ。

さて、司馬光は韜晦の術で、camouflage。ここから本題に入る。世界最大の規模を誇る中国人民解放軍(以下PLA)で1月10日、「中央軍事委員会規律検査委員会拡大会議」が開催され、PLAの宿痼である腐敗問題の対策が議論されたようだ。その前に、簡単にPLA軍事委員会の組織を説明すると、習近平「主席」がトップで、張又俠、何衛東の「副主席」が主席を補佐しており、その下に劉振立・軍委聯合参謀部参謀長が“参謀総長”、張昇民・軍委規検委書記が“検非違使別当”のような役目の「軍事委員」をつとめている。軍事委員はもうひとり、苗華・軍委政治工作部主任がいるが、彼は「失脚」が明らかとなって現在職務停止中だ。そもそも軍事委員会は1主席、2副主席、4委員で構成される慣例だが、前国防相の李尚福上將も失脚して委員から外され、現在“お裁き”を待っており、ヒラ委員は実質2人しかいない異常事態。因みに、習主席は文民だが、それ以外の連中は全て制服組(上將)である。

さて、そんなPLA上層部において1月10日、規検委拡大会議が開かれ、習近平主席と張又俠副主席は欠席し、張昇民・軍委規検委書記が主宰したが、実際に会議を仕切ったのは何衛東副主席だった。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

公式発表によると、何衛東副主席は、演説の中で「習近平主席の『中国の特色ある社会主義新思想』の指導を堅持する必要性を強調し、党と軍の全面的かつ厳格な統治を深化させ、【二つの確立】を深く理解し、【二つの擁護】を達成し、軍事委員会の主席責任制を実施し、党と軍の強力な保障を提供することが決定的に重要だ」と述べた。【二つの確立】とは、「習主席の核心的地位と習近平思想の指導的地位を確立する」、【二つの擁護】とは、「習主席の全党の核心の地位と、党中央の権威と集中的・統一的指導の擁護」を指し、後段に登場する「軍事委員会の主席責任制」と合わせて読めば、習近平主席のPLAの最高統帥者としての絶対的権威と地位を固めようとしていることは明らかである。

だが、PLAは必ずしも一枚岩ではなさそうだ。PLAの機関紙「解放軍報」は昨年12月、“主席責任制”とは真逆な「集団指導体制(集体領導)を堅持せよ」とする論評を掲載した。“集体領導”とは、鄧小平時代の指導部が文革などの災難をもたらした毛沢東独裁体制に対する反省から提唱したもので、江沢民・胡錦濤時代も党内ガバナンスの「基本原則」として貫徹されていた。最近の解放軍報はこれを支持するだけでなく、独裁反対とまで踏み込み、「鄧小平回帰、習近平批判」の色彩の強いものとなっている。

PLAの水面下で軋轢が高まる中、主流派も反撃に出ているようだ。習近平主席は12月16日に、党長老(故)喬石の生誕百周年を記念する座談会に出席し、“党の全面指導と党中央の集中統一指導を終始堅持せよ”とする「重要講話」を発表した。

そして、その数日後の人民日報は、近い内に習主席の論文が党機関誌「求是」に掲載されることを予告し、記事では習主席の過去の発言が引用されて、「党内不可避免会出现各種矛盾和问题、必须以刀刃向内的勇气、及时消除各種消極影響、確保党始終充滿蓬勃生机和旺盛活力(党内において不可避免的にさまざまな矛盾と問題が生じてくる。われわれは刃を内部に向ける勇気を持ち、あらゆる消極的な影響を除去しなければならぬ)」として、物騒で剣呑な表現・“刃を内部に向ける”が生々しく使われている。

PLAの2トップの内、何衛東副主席は習主席に忠誠を誓う発言を繰り返しており、彼が31集団軍出身で主席との地縁もあることから、何衛東のスタンスは明らかのようなのだ。ということは、それに反対し、集団指導への回帰を狙う勢力がだれか、なんとなく読めてくる。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2025年(令和7年)1月15日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。